

業 績

(2019 年 1 月 1 日現在)

江 尻 桂 子

1 学位論文（博士論文）

江尻桂子（1998）

「乳児における音声発達の基礎過程：規準喃語の出現とリズムカルな運動の発達の関連」
(お茶の水女子大学より博士（人文科学）の学位授与 博甲第 92 号 1998 年 3 月 30 日)

2 著書

単著

江尻 桂子（2000） 『乳児における音声発達の基礎過程』 風間書房

共著（分担執筆）

1. 江尻桂子（印刷中）『有斐閣 現代心理学辞典』
子安増生・丹野義彦・箱田裕司（監修） 有斐閣 （2019 年刊行予定）
（担当：乳児期・喃語・マザリーズ・クーイングなど 6 項目）
2. 江尻桂子（2013）『最新・心理学事典』
藤永保（監修）内田伸子・繁枘算男・杉山憲司（責任編集） 平凡社
（担当：「初期言語」「非言語コミュニケーション」「母子相互作用」等）
3. 江尻桂子（2013）『あたらしい言語障害のみかた・治療・教育』
石田勝義・橋本竜作・山路めぐみ（編） 古今社 p.26-27. （全 150 頁中 2 頁執筆）
（担当：「第 5 節 発話・身ぶり、手話表出の関連と発達」）
4. 江尻桂子（2012）『新・発達心理学ハンドブック 第 4 巻：発達の基盤：身体・認知・情動』
日本発達心理学会（編）／根ヶ山光一・仲真紀子（編） 新曜社 p.148-156.
（担当：「第Ⅱ部 第 13 章 言語習得の身体的基盤」）
5. 江尻桂子（2011）『特別支援教育における言語・コミュニケーション・読み書きに困難がある子どもの理解と支援』（シリーズ きこえとことばの発達と支援）
大伴潔・大井学（編） 学苑社 p.7-24 （全 224 頁中、17 頁執筆）
（担当 第 1 章 A1-A3「ことばの発達を支えるもの」など）
6. 江尻桂子（2010）『子どもの暮らしの安全・安心～命の教育へ
第 1 巻：乳幼児期から小学校入学まで』
内田伸子・袖井孝子（編） 金子書房
（担当：「子どもはどのようにして命の大切さに気づくか」 p.103-107／「幼児は見知らぬ人からの誘いを断ることができるのか」 p.72-76） （全 142 頁中 10 頁執筆）

7. 江尻桂子 (2010) 『子どもの暮らしの安全・安心～命の教育 第2巻：児童期から青年期まで』
内田伸子・袖井孝子 (編) 金子書房 (全 147 頁中、5 頁執筆)
(担当：「児童は見知らぬ人からの誘いを断ることができるのか」(p. 24-28))
8. 江尻 桂子 (2010) 『よくわかる家族心理学』 柏木恵子 (編) ミネルヴァ書房
(担当：「母と子(赤ちゃん)のコミュニケーション」) p. 98-99 (全 217 頁中 2 頁執筆)
9. 江尻 桂子 (2008) 『よくわかる乳幼児心理学』 内田伸子 (編) ミネルヴァ書房
(担当：「母子相互作用」「個性の育ち」など) (全 204 頁中、44 頁執筆)
10. Ejiri,K. & Uchida,N. (2006) The intrinsic link between gesture and speech in the prelinguistic stage.
The Handbook of East Asian Psycholinguistics. Vol.2 Japanese. Nakayama,M. & Mazuka,R.(Eds.)
Pp.26-33. Cambridge University Press (UK) (全 409 頁中、8 頁執筆)
11. 江尻桂子 (2006) 『発達心理学キーワード』 内田伸子 (編) 有斐閣
(担当：2 章「子どもはどれほど有能か？—発達初期の子どもの能力」・3 章「個性はどう育つか—気質と行動発達」) (全 287 頁中、48 頁執筆)
12. 江尻桂子 (2004) 『新・心理学の基礎知識』 (用語集) 中島・重耕・箱田 (編) 有斐閣
(担当：「新生児模倣」・「新生児の行動状態」) (全 546 頁中、2 頁執筆)
13. 江尻桂子 (2002) 『乳幼児心理学』 内田伸子 (監修) 放送大学教育振興会
(担当：2 章「乳児期の認識能力」・3 章「発達初期の気質と行動」) (全 212 頁中、22 頁執筆)
14. 江尻桂子 (2001) 『発達心理学』 無藤隆 (編) ミネルヴァ書房
(担当：2 章「乳児の知的発達—見ること、聞くことの発達—」) (全 220 頁中、11 頁執筆)

翻訳書 (共訳)

『マインド —認知科学入門—』 共立出版 1999 年 松原 仁 (監訳) 梅田 聡・江尻 桂子・
幸島 明夫・開 一夫 (共訳) (Thagard, P. (1996) "Mind : Introduction to cognitive science")

3 研究論文 (査読付) (すべて筆頭著者)

1. 江尻桂子 (2018) 初期言語発達のランドマークとしての喃語の発達 (特集 I : 日本語の言語のランドマーク)
コミュニケーション障害学, 35, 13-16. (依頼論文)
2. Ejiri, K. & Matsuzawa,A. (2017) Factors associated with employment of mothers caring for children with intellectual disabilities.
International Journal of Developmental Disabilities. (Online Published:Dec,2017、雑誌には印刷中)
DOI:10.1080/20473869.2017.1407862 (査読付)
3. 江尻桂子 (2014) 障害児の母親における就労の現状と課題—国内外の研究動向と展望
特殊教育学研究 51(5) 431-440. (査読付)

4. 江尻桂子 (2013) 子どもの危険認知の発達のプロセスを知る—これからの防犯教育を考えるために— (特集: 子どもに必要な安全・安心とは) 教育と医学, 721, 58-64. 慶應義塾大学出版. (依頼論文)
5. 江尻桂子 (2012) 豊かな情緒発達を育むために—発達初期に求められる環境—. 子どもの発達発達 10, 100-103. (特集論文) (依頼論文)
6. 江尻桂子 (2010) 幼児・児童における危険認知の発達: 子どもの安全・防犯教育を考えるための発達心理学的アプローチ 発達心理学研究 21(4), 332-341. (査読付)
7. 江尻 桂子 (2003) 音声言語獲得と身体 言語獲得研究の新潮流 月刊言語 vol32. No. 8, 106-111. (依頼論文)
8. 江尻 桂子 (2001) ことばと身体の関係から見た言語獲得 児童心理学の進歩 (2001 年版) 日本児童研究所 (編) 金子書房 77-100. (査読付)
9. Ejiri,K. & Masataka,N. (2001) Co-occurrence of preverbal vocal behavior and motor action in early infancy. Developmental Science. 4, (1) 40-48. (査読付)
10. 江尻 桂子 (1999) わが国の最近 1 年間における教育心理学の研究動向と展望—言語発達・認知発達研究の動向と今後の課題— 教育心理学研究年報 38, 35-50. (依頼論文)
11. 江尻 桂子 (1999) 言語獲得の基盤としての乳児の音声発達 小特集「話す仕組みを巡って: 発話機構研究の最前線」 日本音響学会誌 55, 789-795. (依頼論文)
12. 江尻 桂子・正高 信男 (1999) 乳児における喃語と身体運動の同期現象—II. 音響分析による同期性の機能の検討 心理学研究 69, 433-446 (査読付)
13. 江尻 桂子 (1999) ろう児と健聴児の比較からみた前言語期の乳児の音声と身体運動の同期現象 教育心理学研究 47, 1-10. (査読付) (教育心理学会「城戸奨励賞」受賞論文)
14. Ejiri,K. (1998) Relationship between rhythmic behavior and canonical babbling in infant development. Phonetica. 54, 226-237. (査読付)
15. 江尻 桂子 (1998) 乳児における喃語と身体運動の同期現象—I. その発達的变化 心理学研究 68, 433-440. (査読付)
16. 江尻 桂子 (1998) 乳児における規準喃語の出現とリズムミカルな運動の発達の関連 発達心理学研究 9, 232-241. (査読付)
17. 江尻 桂子 (1995) 子どもの描く想像画: その発達と教示による効果 発達心理学研究 5, 154-164. (査読付)

4 その他の論文 (すべて筆頭著者)

紀要・報告書等

1. 江尻 桂子(2018) 利根川明子論文「教室における児童の感情表出と学級適応間の関連」 第 52 回 (2016 年度) 教育心理学会「城戸奨励賞」講評
教育心理学年報 57, 350-351.
2. 江尻 桂子(2018)「保育の心理 I」授業実践報告—幼児・児童・生徒の心身の発達と学習過程に関する基礎的知識の習得のために—
2017 年度茨城キリスト教大学教職課程論集 20-24. 茨城キリスト教大学教職課程委員会
3. 江尻 桂子 (2017) 言語の発達と障害授業実践報告
2016 年度教職教養に関する研究・実践報告集 71-75. 茨城キリスト教大学教職課程委員会
4. 江尻 桂子 (2016) 心理・教育・看護の視点から考える障害児家族支援—各専門領域はこの問題をどう捉え、取り組んできたのか— (特殊教育学会第 53 回大会：自主シンポジウム報告) .
特殊教育学研究 53, 386-387.
5. 江尻 桂子・武居渡・松澤明美 (2015) 心理・教育・看護の研究実践から考える障害のある子どもの家族への支援
茨城キリスト教大学紀要 49, 285-229.
6. 江尻 桂子 (2015)「保育の心理学 I 授業実践報告」
2014 年度教職教養に関する研究・実践報告集 28-32. 茨城キリスト教大学教職課程委員会
7. 江尻 桂子・松澤明美 (2013) 障害児を育てる家族における母親の就労の制約と経済的困難 — 障害児の母親を対象とした質問紙調査より—
茨城キリスト教大学紀要 47, 1-8.
8. 江尻 桂子 (2009) 対話における聞き手の反応傾向が対人魅力に及ぼす影響
おおみか教育研究 12, 1-9.
9. 江尻 桂子・内田伸子 (2008) 幼児・児童における既知・未知人物に対する危険認知の発達「幼児の安全教育に関する総合的研究—幼児の危険認識の発達に及ぼす社会・文化的要因の影響」
財団法人セコム科学技術振興財団研究助成平成 19 年度研究成果報告書 47-59.
10. 江尻 桂子・内田伸子 (2007) 幼児・児童における見知らぬ人物に対する認知の発達 「幼児の安全教育に関する総合的研究—幼児の危険認識の発達に及ぼす社会・文化的要因の影響」 財団法人セコム科学技術振興財団研究助成平成 18 年度研究成果報告書 73-79
11. 江尻 桂子・内田伸子 (2006) 幼児・児童における見知らぬ人物に対する認知の発達 「幼児の安全教育に関する総合的研究—幼児の危険認識の発達に及ぼす社会・文化的要因の影響」
財団法人セコム科学技術振興財団研究助成平成 17 年度研究成果報告書 47-55.

12. 江尻 桂子・武居渡（2006）言語獲得期における指さしと発生の声の関係：聴覚障害児の母子コミュニケーションの分析から
言語文化研究所紀要（茨城キリスト教大学言語文化研究所） 第11-12 合併号 57-68.
13. 江尻 桂子（2006）聴覚障害児と健聴児の指さしに見る発話と身ぶりの発生起源
人間福祉論集（茨城キリスト教大学生生活科学部人間福祉学科）4, 9-14.
14. 江尻 桂子（2005）子育てを通して考える福祉の問題（1）
人間福祉論集（茨城キリスト教大学生生活科学部人間福祉学科）3, 15-21.
15. 江尻 桂子（2003）ヒトの母子におけるコミュニケーションの豊かさを生み出したもの
ベビーサイエンス 2, 31（コメント論文）
16. 江尻桂子（2003）「ジェスチャー —考えるからだ—」（喜多荘太郎 著）
児童心理 790, (2003 年 8 月号) 134.（書評）
17. 江尻 桂子（2003）初期言語行動の発達—音声と身体運動の同期現象をめぐって—
お茶の水女子大学 21 世紀 COE プログラム平成 14 年度セミナー報告書 11-20.
18. 江尻 桂子（2000）原子力災害時の情報伝達—東海村 JCO 臨界事故後の住民調査から—
茨城キリスト教大学短期大学部紀要 40, 135-162.
19. 江尻 桂子（2000）言語スタイル形成過程に関わる社会・文化的要因の解明
松下国際財団研究成果報告書（1998 年度後期）25-26
20. 江尻 桂子（2000）心理学実験演習：フィールドワーク報告
創造 29, 45-53.
21. 江尻 桂子（1999）心理学を学べば何がわかるのか—大学生の心理学観とその心理学教育による変化
シオン短期大学紀要 39, 121-129.
22. 江尻 桂子（1998）乳児における喃語発達の過程
お茶の水女子大学人間文化研究科年報 21, 114-122.
23. 江尻 桂子（1997）初期言語発達の過程とそれを支える諸要因 —身体運動と喃語発達の関連を探る新たなアプローチ—
お茶の水女子大学人間文化研究科年報 20, 287-294

その他の出版物（ニューズレター等）

1. 江尻桂子・清水由紀（2014）「土曜研（社団法人日本心理学会発達心理学基礎研究検討会）紹介」
日本発達心理学会ニューズレター 71, 14-15. 日本発達心理学会
2. 江尻桂子（2013）「子どもを不審者から守るために」あんぜんだより
よいこのあんぜんニュース 7 月号(第 321 号) 少年写真新聞社（監修）.

3. 江尻桂子(2013) (監修)「未来を生きる君たちへ 自立と共生」
日立市副読本
4. 江尻桂子 (2005) 「極寒のメインで Speech Science を学ぶ」
日本発達心理学会ニューズレター 45, 12-13. 日本発達心理学会
5. 江尻桂子 (2004) 「かえるくんの話」
チャペル奨励集 第1集 p.1-7. 茨城キリスト教大学学園宗教センター
6. 江尻桂子 (2004) 「ことばの遅れが気になったら」
保育園保健ニュース 26 p.1.
7. 江尻桂子 (2003) 「生まれてきてくれてありがとう」
未来を生きる君たちへ ー自立と共生ー p.10. (日立市副読本教材)

5 学 会 発 表 (すべて筆頭発表者)

学術集会 (学会)

1. 江尻桂子・松澤明美 (2018) 障害児を育てる母子世帯における生活状況
日本発達心理学会第29回大会論文集 P7-33. 東北大学 2018年3月25日 (ポスター発表)
2. 江尻桂子 (2018) 「初期言語発達における身体的基盤ー乳児の喃語発達に着目してー」 ラウンドテーブル『認知発達と身体性ーイメージ操作、言葉および数の発達の観点からー』(話題提供)
日本発達心理学会第29回大会. RT8-5. 東北大学 2018年3月25日
3. 江尻桂子 (2017) 「特別支援教育における発達障害への実験的接近 (4)」(シンポジウム指定討論)
日本特殊教育学会第55回大会 (名古屋国際会議場) 2017年9月18日
4. 江尻桂子・松澤明美 (2017) 障がい児の母親における仕事と育児の両立困難とその関連要因
日本発達心理学会大会第28回大会 P7_39. 広島大学 (広島国際会議場)
5. Ejiri, K. & Matsuzawa, A. (2016) Employment, financial, and health issues of mothers caring for children with disabilities in Japan. (Oral presentation). The 31st International Conference of Psychology 2016(ICP2016), Yokohama, Japan, July 27th. (口頭発表・座長)
6. Ejiri, K. (2016) Synchrony of preverbal vocal behavior and rhythmic motor action in early infancy. in Invited Symposium titled "Synchrony as the foundation of cognitive and social development: Mother-infant co-manipulation of time structure" organized by Toyama, N. & Negayama, K.
The 31st International Conference of Psychology 2016(ICP2016), Yokohama, Japan, July 28th. Yokohama (招待シンポジウム・話題提供)
7. 江尻桂子・松澤明美 (2016) 障がいのある子どもを育てる母親の心と身体健康ー健康関連 QOL 尺度を用いた標準値との比較ー
日本発達心理学会大会第27回大会. PD-54. (2016年4月30日 北海道大学)

8. 江尻桂子・松澤明美 (2016) 障害児を育てるひとり親家庭の就労・収入・健康—障害児の母親を対象とした質問紙調査の分析から—
第 54 回日本特殊教育学会大会 P1_25. (2016 年 9 月 18 日-9 月 20 日 新潟大学)
9. 江尻桂子・武居渡 (2015) (シンポジウム企画)「心理・教育・看護の視点から考える障害児家族支援—各専門領域はこの問題をどう捉え、取り組んできたのか—」
第 53 回日本特殊教育学会自主シンポジウム 28. 2015 年 9 月 19 日. 東北大学 (話題提供者: 江尻桂子・武居渡・松澤明美、指定討論者: 宮内久絵)
10. 江尻桂子・松澤明美 (2015) (シンポジウム話題提供者)「障がい児を育てる母親の就労問題—国内外の研究動向と最近の国内調査研究からの示唆—」 『心理・教育・看護の視点から考える障害児家族支援—各専門領域はこの問題をどう捉え、取り組んできたのか—』
第 53 回日本特殊教育学会: 自主シンポジウム 28. 2015 年 9 月 19 日. 東北大学
11. 江尻桂子・松澤明美 (2015) 障害児の母親の就労に影響を与える要因—障がい児の母親を対象とした調査研究をもとに.
日本心理学会第 79 回大会 2015 年 9 月 24 日. 名古屋国際会議場
12. 江尻桂子・松澤明美 (2015) 障害児の母親 における就労を制限する要因—就労を希望する理由・しない理由の分析をもとに
日本発達心理学会大会第 26 回大会. 東京大学 (2015 年 3 月 21 日)
13. 江尻桂子・天野秀哉江尻桂子・松澤明美 (2014b)「障害児を育てる母親における仕事と育児の両立に対する主観的困難度」
日本公衆衛生学会第 73 回総会. P0506-4. (2014 年 11 月 6 日. 栃木東武宇都宮グランデホテル)
14. 江尻桂子・松澤明美 (2014a)「障害児を育てる母親における就労の現状とその関連要因を探る—障害児の母親を対象とした調査から—」
日本心理学会第 78 回大会. (2014 年 9 月 11 日. 同志社大学)
15. 江尻桂子・天野秀哉 (2014b) 幼児は水平の障害物をいかに回避するか—「またぐ・くぐる」の選択におよぼす環境要因の検討」
日本教育心理学会大会第 56 回大会. (2014 年 11 月 9 日 神戸国際会議場)
16. 江尻桂子・天野秀哉 (2014a) 幼児は水平の障害物をどのように回避するか—「またぐ・くぐる」行為の実験状況の違いによる比較.
日本発達心理学会大会第 25 回大会. (2014 年 3 月 21-23 日 京都大学)
17. 江尻桂子・天野秀哉 (2013) 幼児の障害物回避行動に関する実験研究 —4~6 歳児におけるまたぐ・くぐる行為の発達の予備的検討—.
日本教育心理学会第 55 回総会, 396. (2013 年 8 月 18 日法政大学)
18. 江尻桂子・松澤明美 (2013) 障害児をもつ母親の就労と育児ストレスの関係 障害児家族を対象とした質問紙調査の分析から.
日本特殊教育学会第 51 回大会, P4-E-1. (2013 年 8 月 31 日 明星大学)

19. 江尻桂子 (2013) 身体に支えられる認知：言語習得における身体的基盤.
日本発達心理学会出版企画委員会企画シンポジウム (話題提供) (2013 年 3 月 16 日 明治学院大学)
20. Ejiri,K. (2012) The development of children's knowledge about dangerous situations.
Abstract presented at 22nd biennial Meeting of International Society for the study of Behavioral Development, Edmonton, Alberta, Canada (June, 2012) (ポスター発表)
21. 江尻桂子・上野彩 (2012) 大学生における命の認知：大学生を対象とした質問紙調査から.
日本発達心理学会第 23 回大会発 p. 410 名古屋国際会議場 2012 年 3 月 10 日 →発表要旨 pdf
22. 江尻桂子・松澤明美 (2011) 障がい児の母親における就労の現状と課題—障がい児の母親へのインタビュー調査をもとに.
日本臨床発達心理士会第 7 回全国大会論文集 p. 70 横浜国立大学 2011 年 9 月 3 日
23. 江尻桂子・吉田真奈美 (2010) スクールカウンセラー派遣事業の現状と課題 (1) 教員・スクールカウンセラーへのインタビュー調査をもとに.
日本教育心理学会第 52 会総会 論文集 p. 449 早稲田大学 2010 年 8 月 27
24. 江尻桂子 (2010) 子どもの危険認知能力を保護者はどう認識しているか —保護者を対象としたアンケート調査から—
日本発達心理学会第 21 回大会論文集 p. 571. 神戸国際会議場 2010 年 3 月 28 日
25. 江尻桂子 (2009) 子どもの防犯に対する保護者の意識—幼児・学童の保護者を対象としたアンケート調査から—
日本発達心理学会第 20 回大会発表論文集 248 日本女子大学 2009 年 3 月 23 日
26. 江尻 桂子 (2008) 幼児・児童における危険状況の認知の発達 (2) —いかなる状況で、子どもは既知・未知人物についていくのか—
日本発達心理学会第 19 回大会発表論文集 750. 大阪国際会議場 2008 年 3 月 21 日
27. 江尻 桂子 (2007) 幼児・児童における危険状況の認知の発達 (1) —子どもの安全教育を考えるための発達心理学的アプローチ—
日本発達心理学会第 18 回大会発表論文集 643. 埼玉大学 2007 年 3 月 26 日
28. 江尻 桂子 (2006) 《シンポジウム、話題提供者》 幼児・児童における見知らぬ人物に対する認知の発達過程 シンポジウム「リスク社会における幼児の危険認知の発達」
日本発達心理学会第 17 回大会 九州大学 2006 年 3 月
29. 江尻 桂子 (2005) 聴者の親をもつ聾児における身ぶりの発達
日本心理学会第 69 回大会発表論文集 慶應義塾大学 2005 年 9 月 12 日
30. 江尻 桂子・武居 渡 (2005) ろう児と健聴児における発声と指さしの同期的関係
日本発達心理学会第 16 回大会発表論文集 484 神戸国際会議場 2005 年 3 月 28 日
31. 江尻 桂子 (2002) 乳児におけることばと身体の関係
日本発達心理学会第 13 回大会発表論文集 早稲田大学 2002 年 3 月

32. 江尻 桂子 (2001) 母親の育児語使用と子どもの言語発達—質問紙を用いた予備的調査—
日本教育心理学会第 43 回総会発表論文集 名古屋国際会議場 (愛知教育大学) 2001 年 9 月
33. 江尻 桂子 (2000) 災害時の情報伝達—東海村 JCO 臨界事故後の調査から—
日本心理学会第 64 回大会発表論文集 89 京都大学 2000 年 11 月 6 日
34. 江尻 桂子 (1998) 喃語期の乳児におけるリズムカルな運動の発達
日本心理学会第 62 回大会発表論文集 310 東京学芸大学 1998 年 10 月 10 日
35. 江尻 桂子 (1998) 《小講演》乳児における音声発達の基礎過程：規準喃語の出現とリズムカルな運動の発達の関連
日本心理学会第 62 回大会発表論文集 S93 東京学芸大学 1998 年 10 月 8 日
36. Ejiri (1998) Developmental relationship between onset of canonical babbling and rhythmic manual activity.
Paper presented at The XVth Biannual Meetings of the International Society for the Study of Behavioral Development (ISSBD), 545. July 4, 1998, Berne, Switzerland.
37. Ejiri (1998) Pre-canonical babbling vocalizations synchronize with rhythmic body movements before the onset of canonical babbling.
Paper presented at The XVth Biannual Meetings of the International Society for the Study of Behavioral Development (ISSBD), 218. July 3, 1998, Berne, Switzerland. (シンポジウム・話題提供者)
38. 江尻 桂子 (1998) 乳児における規準喃語の出現とリズムカルな運動の発達の関連
日本発達心理学会第 9 回大会発表論文集 128. 1998 年 3 月 26 日 日本女子大学
39. 江尻 桂子 (1997) 前言語期のろう児における喃語の産出と身体運動の同期現象
日本発達心理学会第 8 回大会論文集 229. 1997 年 3 月 28 日 大阪大学
40. 江尻 桂子・正高 信男 (1997) 前言語期の乳児における発声と身体運動との同期現象：その発達的变化と喃語発達に及ぼす影響
日本乳児行動発達研究会設立記念大会 1997 年 4 月 東京慈恵医科大学
41. Keiko Ejiri (1996) Synchronization between preverbal vocal behaviors and motor actions in early infancy " Current topics in babbling research "
日本心理学会第 60 回大会 1996 年 9 月 12 日 立教大学 (シンポジウム・話題提供者)
42. 江尻 桂子・正高 信男 (1996) 身体運動との同期は喃語の発達にどのような影響を及ぼすか
日本心理学会第 60 回大会論文集 238. 1996 年 9 月 10 日 立教大学
43. 江尻 桂子 (1995) 乳児における音声と身体運動の同期現象
日本発達心理学会第 6 回大会論文集 49. 1995 年 3 月 29 日 同志社大学

研究集会・公開セミナー等

1. 東京工業大学環境社会理工学院：J S T戦略的国際共同研究 Meeting（専門的知識の提供）
 テーマ：「乳児における喃語と身体運動の同期現象：音声発達における機能的役割」
 場 所：東京工業大学環境社会理工学院融合理工学系 EEI 棟 日 時：2018 年 7 月 28 日
2. 札幌「法と心理学」研究会
 テーマ：「障害児の母親における就労と QOL（生活の質）を考える」
 場 所：北海道大学 日 時：2016 年 11 月 2 日
3. 筑波大学第 11 回人間系コロキウム
 テーマ：身体に支えられる言語音声言語習得における身体基盤－
 場 所：筑波大学総合研究棟 A 棟 A110 日 時：2014 年 2 月 26 日
4. 第 4 回からだ発達研究会（発達心理学会分科会による研究会）
 テーマ：「乳児における音声発達の基礎過程」
 場 所：早稲田大学 日 時：2013 年 2 月 9 日
5. I C 若手会 2012 年度第 1 回研究会（茨城キリスト教大学・学内研究会）
 テーマ：「海外留学と国際学会発表の意義とプロセス」
 場 所：茨城キリスト教大学 日 時：2012 年 9 月 12 日
6. 科学研究費補助金・新学術領域研究「ヘテロ複雑システムによるコミュニケーション理解のための神経機構の解明」および JST ERATO 浅田共創知能システムプロジェクト共同講演会
 テーマ：「乳児における音声発達の基礎過程：喃語の発達とリズムカルな運動の関連」
 場 所：京都大学吉田キャンパス工学部総合校舎 111 教室 日 時：2010 年 10 月 29 日
7. 茨城キリスト教大学 I C 若手会公開セミナー
 テーマ：「子どもの安全教育への心理学的アプローチ：幼児・児童における見知らぬ人物に対する認知の発達過程」
 場 所：茨城キリスト教大学 日 時：2008 年 6 月 27 日
8. 第 2 回 発達心理学基礎研究検討会（土曜研）
 テーマ：「指さしに音声は伴うか：聾児と聴児の比較から」
 場 所：お茶の水女子大学 日 時：2005 年 8 月 6 日
9. 茨城子どもとことば研究会
 テーマ：「ろう児における音声と指差しの同期的関連—ろう児の指さしに音声は伴うか—」
 場 所：茨城大学教育学部 松村多美恵研究室 日 時：2004 年 9 月 4 日
10. お茶の水女子大第 1 回 COE セミナー
 テーマ：初期言語行動の発達—音声と身体運動の同期現象をめぐって—
 場 所：お茶の水女子大学 日 時：2002 年 12 月 19 日
11. 慶応義塾大学 認知心理学会研究会 (Coglunch)
 テーマ：「ろう児と健聴児における音声と指さしの関係」
 場 所：慶応義塾大学三田キャンパス 日 時：2002 年 10 月 18 日

12. お茶の水女子大学 発達心理学研究会
テーマ：「ろう児における音声とジェスチャーの発達の関連」
場 所：お茶の水女子大学 日 時：2002 年 7 月 28 日
13. お茶の水女子大学 言語発達・認知発達研究会
テーマ：「ことばと身体の関係から見た言語獲得過程」
場 所：お茶の水女子大学 日 時：2002 年 1 月 26 日
14. 茨城大学 発達障害研究会
テーマ：「子どもが言葉を獲得する道筋」
場 所：茨城大学教育学部尾崎久紀研究室 日 時：2000 年 7 月 1 日

その他

放送大学 講師（テレビ 2002～2006）『乳幼児心理学』
（担当番組：「発達初期の子どもの能力」・「乳幼児の気質と行動発達」）

6 学 会 活 動

日本発達心理学会・機関誌編集委員

- ・ 日本発達心理学会機関誌「発達心理学研究」編集副委員長（2019 年 1 月～2019 年 12 月）
- ・ 日本発達心理学会「発達心理学研究」編集委員（2016 年 1 月～2017 年 12 月）

日本教育心理学会・機関誌編集委員

- ・ 日本教育心理学会機関誌「教育心理学研究」編集委員（2015 年 11 月～現在）
- ・ 日本教育心理学会機関誌「教育心理学研究」第 52 回（2016 年度）城戸奨励賞選考委員

日本心理学会

- ・ 日本心理学会認定心理士資格認定委員会委員（2017 年 11 月 1 日～2021 年 10 月 31 日）
- ・ 日本心理学会学術大会委員会委員（2017 年 4 月～2019 年 3 月）
- ・ 日本心理学会専門別代議員（第二部門）（2015 年～2017 年度）
- ・ 日本心理学会・発達心理学基礎研究検討会（土曜研）世話人（2005 年～現在）

研究会の URL：<https://doyouken.jimdo.com/>

7 社会的活動

地域（日立市・茨城県）での委員等

- ・ 日立市子ども子育て新制度会議委員・会長（平成 27 年～29 年／29 年 8 月～現在）
- ・ 茨城県社会福祉審議会委員（平成 28 年 10 月～30 年 6 月／平成 30 年 7 月～平成 32 年 6 月）
- ・ 茨城県少子化対策審議会臨時委員（保育所・認定こども園：認可部会）部会長（平成 28 年 10 月～30 年 7 月／平成 30 年 8 月～現在）
- ・ 茨城県日立市学校適正配置検討委員会委員（平成 28 年 11 月～平成 31 年 10 月）

講演・研修会講師等

1. 茨城県特別支援教育専門家派遣事業（計画派遣型）・学校研修会 講師
テーマ：「子どもの社会性・主体性を育む—発達心理学の視点から—」
場 所：茨城県立北茨城特別支援学校 日 時：2018 年 7 月
2. 2018 年度茨城キリスト教大学教員免許更新講習 講師
テーマ：「幼児教育の理論と実践」
場 所：茨城キリスト教大学 日 時：2018 年 8 月
3. 臨床発達心理士指定科目取得講習会 講師
テーマ：「言語発達とその支援に関する科目（発達の基礎）『言葉の理解と産出』」
場 所：文京学院大学 日 時：2017 年 7 月
4. 茨城県日立市潜在保育士支援講座 講師
テーマ 「発達心理学」
場所：茨城県日立シビックセンター 日 時：2017 年 11 月
5. 茨城県弘道館アカデミー県民大学前期講座（平成 29 年度）
テーマ：「子育ての悩みをどう理解し、解決するか」
場 所：茨城キリスト教大学 日 時：2017 年 9 月
6. 茨城県日立市金沢小学校 PTA 講演会 講師
テーマ：「子どもの心を育むために、いま大人ができること—発達心理学の立場から」
場 所：日立市立金沢小学校 日 時：2017 年 10 月 29 日
7. 2017 年度茨城キリスト教大学教員免許更新講習 講師
テーマ「幼児教育の理論と実践」
場 所：茨城キリスト教大学 日 時：2017 年 8 月
8. 2016 年度茨城キリスト教大学教員免許更新講習 講師
テーマ「幼児教育の理論と実践」
場 所：茨城キリスト教大学 日 時：2016 年 8 月

9. 臨床発達心理士指定科目取得講習会 講師
テーマ：「言語発達とその支援に関する科目（発達の基礎）『言葉の理解と産出』」
場 所：白百合女子大学 日 時：2016 年 7 月
10. 茨城県特別支援教育専門家派遣事業（計画派遣型）・学校研修会講師
テーマ：「コミュニケーションに困難のある児童生徒の理解のためにー発達心理学の立場からー」
場 所：茨城県立内原特別支援学校（自立活動指導力向上研修会） 日 時：2016 年 7 月
11. 日立市民カレッジ 講師
テーマ：「家族介護者の心とからだの健康を考える」
場 所：茨城キリスト教大学 日 時：2016 年 6 月
12. 臨床発達心理士指定科目取得講習会・講師
テーマ：「言語発達とその支援に関する科目（発達の基礎）『言葉の理解と産出』」
場 所：椙山女学園大学 日 時：2016 年 5 月
13. 筑波大学みんなのラボラトリー・カフェ（筑波大学生涯学習講座）講師
テーマ：「家族の介護、どうしたら無理なく続けられますか？」
場 所：Bivi つくば・筑波大学サテライトオフィス 日 時：2016 年 2 月 23 日
14. 大学オープンキャンパス模擬授業・講師
テーマ：「子どもの性格はどうやって決まるー保育士・幼稚園教諭を目指す人のための発達心理学」
場 所：茨城キリスト教大学 日 時：2016 年 7 月 18 日
15. 茨城県立水戸聾学校教員研修会（授業見学・指導講評・保護者対象講演・教員対象講演）
テーマ：「こどもの発達を支える親子の関わりー発達心理学の立場からー」（保護者対象）
：「障がいをもつ子どもの親を支援する一家族心理学・発達心理学の立場からー」（教員対象）
場 所：茨城県立水戸聾学校幼稚部研修 日 時：2014 年 9 月 18 日
16. 茨城県県北保育士主任研修会講演
テーマ：子育て支援・再考ー心理・カウンセリングの立場から考えるこれからの子育て支援ー
場 所：県北生涯学習センター 日 時：2014 年 9 月 4 日
17. 茨城県立水戸聾学校幼稚部・教育研修講演会（教職員対象）
テーマ：「幼児期における伝え合う気持ちを育てるための環境作り」
場 所：茨城県立水戸聾学校 日 時：2013 年 12 月 2 日
18. 日立市塙山学区健康講演会（PTA・教員・地域住民対象）
テーマ：「子どもをとりまくいじめの環境ー子どもたちのSOSに耳をすまそうー」
場 所：日立市塙山交流センター 日 時：2012 年 10 月 31 日
19. 茨城キリスト教大学チャペル礼拝・奨励（学生・教職員・一般対象）
テーマ：「学問のすすめー何のために学ぶのかー」
場 所：茨城キリスト教大学キアラ館 日 時：2012 年 6 月 14 日

20. 東京都文京区私立幼稚園PTA連合会主催講演会
テーマ：「子どもの安全・安心を守るために一幼児期からの防犯教育と心のケア」
場 所：文京シビックセンター小ホール 日 時：2011年11月14日
21. 臨床発達心理士 指定科目講習会
テーマ：「言語発達とその支援に関する科目：発達の基礎『初期言語発達』」
場 所：東京駅八重洲カンファレンスセンター 日 時：2011年8月4日
22. 茨城キリスト教大学チャペル礼拝・奨励（学生・教職員・一般対象）
テーマ：「子どもたちにとっての震災—子どもの不安を大人はどう受け止めるか」
場 所：茨城キリスト教大学キアラ館 日 時：2011年6月29日
23. 常陸太田市のぞみ幼稚園PTA講演会
テーマ：「地震で不安を感じる子どもへの対応と心理的サポート」
場 所：常陸太田市のぞみ幼稚園 日 時：2011年6月18日
24. 大成女子高校模擬授業（高校2年生対象）
テーマ：「遺伝と環境から考える性格の形成」
場 所：大成女子高校 日 時：2011年5月7日
25. 磯原中学区三校PTA連絡協議会研修会（教職員・PTA対象講演会）
テーマ：「これからの命の教育 子どもたちに何をどう伝えていくか」
場 所：北茨城ふれあいセンター大ホール 日 時：2010年1月30日
26. 茨城県県北生涯学習センター主催「県民大学」
テーマ：「夫婦再考—家族心理学の立場から—」（シリーズ 『人間関係の深層』第2回目）
場 所：茨城キリスト教大学 日 時：2010年8月24日
27. 茨城キリスト教学園 チャペル礼拝奨励
テーマ：「人生を変えたメイン州立大学短期留学」
場 所：茨城キリスト教学園キアラ館 日 時：2010年6月29日
28. 東海村男女共同参画講演会 充実した暮らしを送るための講演会 講師
テーマ：「きょうから始める『自分流』家庭と仕事のバランス術—女性、家族の視点から考えるワークライフ・バランス」
場 所：東海村役場 日 時：2009年9月9日
29. 臨床発達心理士指定科目取得講習会 講師
テーマ：「言語発達とその支援に関する科目：発達の基礎『初期言語発達』」
場 所：白百合女子大学 日 時：2009年5月2日
30. 臨床発達心理士指定科目取得講習会 講師
テーマ：「言語発達とその支援に関する科目：発達の基礎『初期言語発達』」
場 所：白百合女子大学 日 時：2008年8月8日

31. 県民大学（茨城県県北生涯学習センター主催）講師
テーマ：「子どもたちとのいのちの対話」（心理カウンセリング講座：生きることの意味）
場 所：茨城キリスト教大学 日 時：2008 年 8 月 26 日
32. 茨城キリスト教学園 チャペル礼拝・奨励
テーマ：「いのち輝くとき ―小児病棟のひととき―」
場 所：茨城キリスト教学園キアラ館 日 時：2008 年 4 月 30 日
33. 保育ボランティア講座（日立市社会福祉協議会主催）
テーマ：「いま、子育て支援に求められるもの」
場 所：日立市福祉プラザ 日 時：2007 年 11 月 27 日
34. プリンストン日本語学校出張講義（中・高生対象）
テーマ：「少子化日本における子育て事情」
場 所：米国ニュージャージー州プリンストン日本語補習校 日 時：2003 年 11 月 8 日
35. 核燃料開発サイクル機構女性広報チーム研究会
テーマ：「若年層を対象とした PA 活動―発達心理学の立場から―」
場 所：核燃料開発サイクル機構東海事業所 日 時：2003 年 1 月
36. ひたち子育てセミナー（日立市・日立家庭教育センター主催）
テーマ：「子育てライフ、どんなことで悩んでいますか」
場 所：日立家庭教育センター 日 時：2002 年 11 月 23 日
37. 働く婦人の家：関東ブロック研修会（日立市女性センター主催）
テーマ：「仕事と家庭生活の両立のために」
場 所：日立市女性センター 日 時：2002 年 9 月 27 日
38. 茨城キリスト教学園 チャペル礼拝・奨励
テーマ：「かえるくんの話」
場 所：茨城キリスト教学園キアラ館 日 時：2002 年 6 月 26 日
39. ライフケアひたち 研修会
テーマ：「人とのふれあいの中で子は育ち、親は育つ」
場 所：日立市女性センター 日 時：2002 年 6 月 22 日
40. 核燃料開発サイクル機構 リスコミセミナー
テーマ：「地域住民と原子力の関わり」
場 所：核燃料開発サイクル機構アトムワールド 日 時：2002 年 6 月 6 日
41. 核燃料開発サイクル機構 サイクルフォーラム
テーマ：「地域住民と原子力の関わり」
場 所：東海文化会館 日 時：2002 年 3 月 16 日
42. (株)花王 育児マーケティング研究会
テーマ：「乳児の音声発達」
場 所：お茶の水女子大学 日 時：2001 年 8 月 2 日

43. 東海村ことばの教室 研修会（教職員対象）講師
 テーマ：「乳幼児におけることばの発達」
 場 所：東海村白方小学校 日 時：2001 年 2 月 15 日
44. 石内幼稚園創立 50 周年記念講演会（P T A対象講演会）講師
 テーマ：「幼児の発達と教育」
 場 所：日立市石内幼稚園 日 時：2000 年 9 月

8 臨 床 活 動 （特別支援に関する指導助言）

1. 2018 年 10 月 茨城県特別支援教育専門家派遣事業（計画派遣型）北茨城特別支援学校
 （授業参観および指導助言）
2. 2018 年 3 月 茨城県特別支援教育専門家派遣事業（計画派遣型）日立市内幼稚園
 （保育参観および指導助言）
3. 2017 年 11 月 茨城県特別支援教育専門家派遣事業（計画派遣型）日立市内幼稚園
 （保育参観および指導助言）
4. 2016 年 11 月 茨城県特別支援教育専門家派遣事業（計画派遣型）日立市内幼稚園
 （保育参観および指導助言）
5. 2016 年 11 月 茨城県特別支援教育専門家派遣事業（計画派遣型）内原特別支援学校
 （授業参観および指導助言）

9 競争的外部資金獲得状況等 （すべて研究代表者）

1. 平成 25～29 年度 科学研究費助成金(基盤 C)
 - ・ 研究課題：「障害児をケアする家族におけるワーク・ロスの問題：その生起メカニズムと支援策を探る」
 - ・ 研究代表者：江尻桂子、研究分担者：松澤明美
 - ・ 総額 3900 千円
2. 平成 25 年度 茨城キリスト教大学 2013 年度研究助成金
 - ・ 研究課題：「幼児の運動能力と危険回避行動についての実験研究 ―子供の事故防止に向けての発達心理学および体育学からのアプローチ―」
 - ・ 研究代表者：江尻桂子、研究分担者：天野秀哉
 - ・ 総額 500 千円
3. 平成 24 年度 ユニバーサル財団 2012 年度年度研究助成金
 - ・ 研究課題：「障害児の母親における就労とその影響要因―障害児家族支援への新たなアプローチ」
 - ・ 研究代表者：江尻桂子
 - ・ 総額 700 千円

4. 平成 23 年度 茨城キリスト教大学 2011 年度研究助成金
 - ・ 研究課題：障害児家族におけるワーク・ロスの現状とその影響要因
 - ・ 研究代表者：江尻桂子 研究分担者：松澤明美
 - ・ 総額 330 千円
5. 平成 19～21 年度 文部科学省科学研究費補助金（若手研究 B）
 - ・ 研究課題：「幼児・児童における危険状況の認知の発達—子どもの安全教育に関する心理学的研究」
 - ・ 研究代表者：江尻桂子
 - ・ 総額 2960 千円
6. 平成 16～17 年度 文部科学省科学研究費補助金（若手研究 B）
 - ・ 研究課題：「身振りと音声の同期メカニズムの解明：健聴児と聴覚障害児の比較から」
 - ・ 研究代表者：江尻桂子
 - ・ 総額 2300 千円
7. 平成 12～13 年度 文部省科学研究費補助金（奨励研究 A）
 - ・ 研究課題：「成人の育児語使用と子どもの言語発達」
 - ・ 研究代表者：江尻桂子
 - ・ 総額 2200 千円
8. 平成 12 年度 文部科学省科学研究費補助金（研究成果公開促進費：学術図書）
 - ・ 研究課題：「乳児における音声発達の基礎過程」
 - ・ 研究代表者：江尻桂子
 - ・ 総額 90 千円
9. 平成 11 年度 松下国際財団研究助成金
 - ・ 研究課題：「言語スタイル形成過程に関わる社会・文化的要因の解明—母子相互交渉の日米比較から」
 - ・ 研究代表者：江尻桂子
 - ・ 総額 50 千円
10. 平成 8～10 年度 文部省科学研究費補助金（特別研究員奨励費）
 - ・ 研究課題：「乳児における音声と身ぶりの同期現象」
 - ・ 研究代表者：江尻桂子

10 その他

所属大学での委員等

- ・ 茨城キリスト教大学文学研究科教育学専攻運営委員（専攻主任）（2010 年～現在）
- ・ 茨城キリスト教大学倫理審査委員（2015 年 4 月～2020 年 3 月）（2018 年 4 月より委員長）
- ・ 茨城キリスト教大学文学部教授会議長（2018 年 4 月～現在）